

松永 将輝さん（博士前期課程 2 年）が化学工学会室蘭大会 2018 において関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました

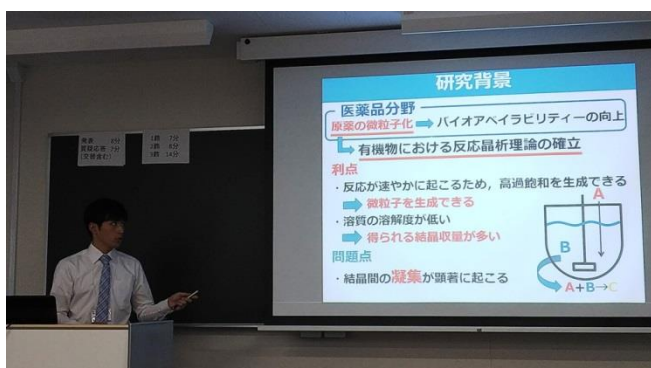
平成 30 年 8 月 20 日から 21 日にかけて室蘭工業大学で行われた化学工学会室蘭大会 2018 において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程 2 年の松永 将輝さんが関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました。

医薬品原薬や食品添加物等に代表される芳香族の有機物結晶を生産する際、結晶粒子のバラツキをなるべく抑止することで、原薬粒子の溶解性向上や味の調節が可能になります。松永君は、有機芳香族結晶の反応晶析において、多糖からなる水溶性高分子を添加剤に用いることで、従前の結晶品質が大幅に改善されることを新たに見出しました。松永君の今後の活躍が期待されます。

発表者：松永 将輝（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程 2 年）

（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：水溶性高分子溶存下における安息香酸の反応晶析



松永 将輝 君

（左）口頭発表の様子、（右）表彰状とともに（左端が松永君）